



## 雪と遊ぼう集会 2月15日（金）

ホームページ版は一部内容が異なります。

2月15日（金）の3校時目「雪と遊ぼう集会」を行いました。  
この活動は、「雪に親しむ活動を通して、ふるさとの冬を存分に楽しむとともに、冬場の体力向上と寒さに負けないたくましさを養う」ことをねらいとしています。

今年度は元気保健委員会の子どもたちが、種目を決めたり、準備をしたりして本番をむかえました。当日の運営も委員会の子どもたちでした。

最初に体育館に集合して、開会式を行い、準備体操をした後でグラウンドに出ました。そして、三つの種目を行いました。全校を赤、白の二つのチームに分けて、競技をしました。

最初に行ったのが、「全校そりリレー」です。3人1組で、一人が乗って二人がそりを引いたり押したりして進みます。途中Uターンする際に、乗る人を交代します。別の色のチームに負けないように一生懸命頑張りました。

相当な運動量になったようです。



【一生懸命にそりリレーに取り組む子どもたち】

次に行ったのは「アイデア雪像」です。各色で造る物を決めてきて、時間内に完成させる競技です。

どちらのチームも、どの学年の子どもも、雪像を造るために、雪を集めたり、バケツで雪を運んだりして、自分の役割を一生懸命こなしていました。

そして、形が見え始めたとき、みんなで協力して、「ここをこうして」、「飾りの物をもってきて」、「こうするといいんじゃない?」というように声を掛け合っていました。

学年関係なく、一つの物をみんなで造ろうと仲よく頑張る姿に、朴瀬小学校の子どもたちの素晴らしさを見ました。

そして、できた作品は共に素晴らしい物でした。

白組は「うさぎプリン」、赤組は「ほのきせピラミッド」という題を付けて、発表していました。短い時間に、みんなで完成した雪像は、光り輝いているようでした。



【みんなで協力し合いながら、雪像を造りました】

最後の種目は、「雪合戦～リングをねらえ，アタックチャンス～」でした。相手のチームの投げる雪玉に当たらないようにしながら，相手チームのリングを回収し，その後で旗をとるという工夫されたゲームでした。雪玉を作る人は専門にいて，雪玉を投げながら相手のリング・旗をとる人に渡すというルールなので，チーム内の協力が大切になります。途中作戦タイムを入れながら，3回行いました。

子どもたちからは，「暑い！汗かいた・・・」「運動したあ・・・」という声が聞かれ，相当な運動量だったと思われます。



【汗をかくほど，熱中した雪合戦】

充実した3種目でした。

朴瀬小学校の校歌の4番には「北風行手にはばむとも 雪の純潔 身にうけて」とあります。朴瀬小学校では，これまでも学校の坂を利用したスキー，そりなどで冬の体力づくりをしてきた伝統があります。今回の集会の子どもたちには朴瀬小学校の伝統を受け，冬に負けずたくましく運動してる姿がありました。

まだ少し寒さは続くようですが，校歌にある朴瀬小学校の子どもの姿で，頑張っしてほしいと思っております。



【完成した雪像の前で記念撮影】

## わくわく給食 2月18日（月）

2月18日（月）は今年度最後の「わくわく給食」でした。今回も，東雲中学校の栄養教諭の先生にお越しいただき，「食育」の指導をしていただきました。

最後に今年度の総復習をしました。「温かい朝食をとることの大切さ」，「一口で30回かむこと」等，クイズ形式での復習をしましたが，子どもたちはよく覚えておりました。大変ためになる内容でした。

そして，みんなで給食を食べました。6年生にとって最後のわくわく給食会となりましたが，楽しく終わることができました。

